



表記について

- 本書に記載されていない情報が記載される場合がありますので、ディスクに添付のテキストファイルも必ずお読みください。
- 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 本書はパソコンの基本的な操作を行うことができる方を対象に書れています。特に記載の無い操作については、一般的なパソコンの操作と同じように行ってください。
- 本書では Microsoft® Windows®2000 operating system および Microsoft® Windows® XP operating system を Windows 2000、Windows XP (Home Edition および Professional の総称) と表記します。
- 本書では Mac OS X v10.2.n、Mac OS X v10.3 を Mac OS X と表記します。



警告

■ 健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニタに表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでにされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたられる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

■ 著作権について

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像/音声をキャプチャしたデータは、動画、静止画に関わらず個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、個人として楽しむ目的であっても複製が制限されている場合があります。キャプチャしたデータのご利用に対する責任は弊社では一切負いかねますのでご注意ください。

ADVC-300

ユーザーズマニュアル

Version 1.0J

November 7, 2003

Copyright © 2003 Canopus Co., Ltd.

All rights reserved.



● 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

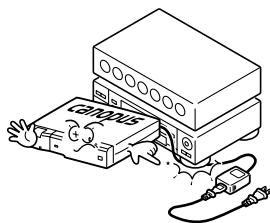
コードの上に重いものをのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、コードを折り曲げたり、加工しないでください。

ACアダプタを抜くときは、プラグ部分を持ってください。

コードが傷んだら、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまで交換をご依頼ください。



禁止



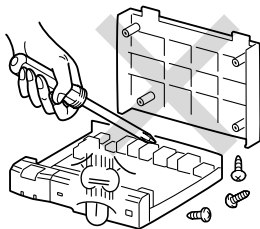
● キャビネットを開けない

キャビネットを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。

内部の点検、修理はお買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご依頼ください。



分解禁止



● ほこりや湿気の多い場所では使用しない

ショートや発熱が起こり、火災や感電の原因となります。



禁止



● 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

万一、水や異物が入った場合は、本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。



禁止



● 国外では使用しない

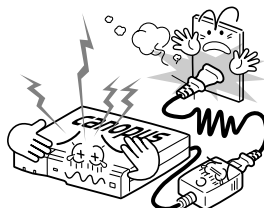
本製品は、日本国内での使用を前提として設計されています。

海外では電源電圧が異なりますので、付属のACアダプタでは使用できません。

使用すると、火災や感電の原因となります。



禁止

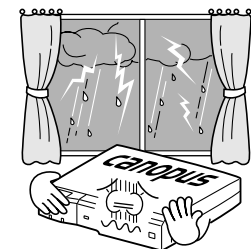


● 雷が鳴り出したら使わない

本体や、プラグには触れないでください。感電の原因となります。



禁止

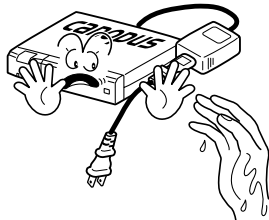


● ぬれた手でACアダプタを触らない

ぬれた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



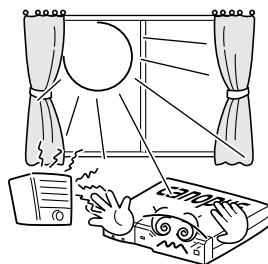
接触禁止



● 直射日光の当たる場所に置かない

日光の当たる場所や熱器具のそばに置かないでください。

火災や製品の故障の原因となります。



● 煙が出た状態で使用しない

煙が出る、異臭がするなどの異常状態で使用しないでください。

火災や製品の故障の原因となります。

異常が発生したら、本体の電源を切り、電源コードを抜いて、煙が消えたのを確認してから、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。

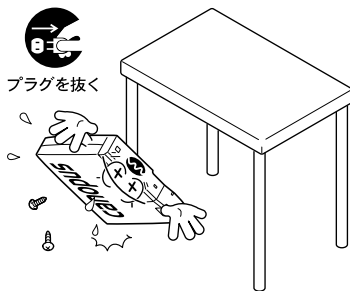


● 製品が破損した状態で使用しない

本製品を落としたり、カバーを破損した状態のまま使用しないでください。

火災や製品の故障の原因となります。

製品が破損した場合は、本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。





注意

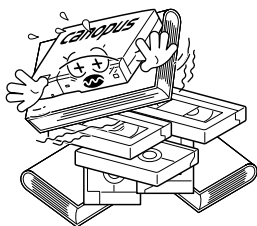
● 不安定な場所に置かない

不安定な台の上や傾いたところに置かないでください。

落下するおそれがあり、けがをしたり、製品の故障の原因となります。



注意



● お手入れの際は電源を切る

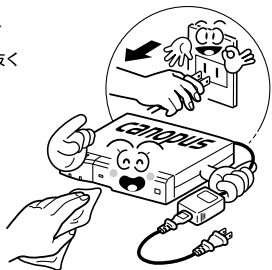
接続するときやお手入れの際は、電源プラグを抜いてください。

感電や製品の故障の原因となります。

お手入れの際は、シンナーなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。



プラグを抜く



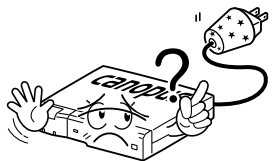
● 指定外の AC アダプタを使わない

付属の AC アダプタ以外の製品を使わないでください。

火災や製品の故障の原因となります。



注意



●コード類は正しく配置する

電源コードやAVケーブルは整理して配置してください。

足にひっかけると、けがや製品の故障の原因となります。



注意



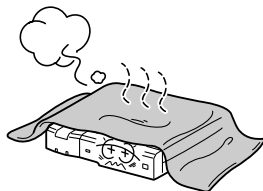
●本体を布などで覆わない

風通しの悪い場所や布などで覆った状態で使用しないでください。

内部に熱がこもって、火災や製品の故障の原因となります。



火災

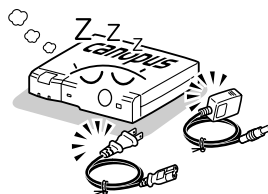


●長時間使わないときはACアダプタを外す

使用しないときは、安全のためACアダプタをコンセントから外してください。



注意



●製品に付属しているDVケーブルを使う

ADVC-300をPCと接続するときは、できるだけ製品に付属しているDVケーブルをご使用ください。他のDVケーブルを使用された場合、そのケーブルの種類によってはADVC-300を破損するおそれがあります。



注意

目次

ADVC-300 の特長	11
付属品の確認	12
■ ADVC-300 同梱物	12
各部の名称と機能	13
■ 前面	13
■ 背面	14
■ 上面	15
■ 底面	16
ADVC-300 の設定	17
■ [SW1]ディップスイッチ	17
■ [SW2]ディップスイッチ	19
■ 画質、音質調整	21
『Picture Controller 300』のインストール	26
■ 動作環境	26
■ インストール (Windows の場合)	27
■ インストール (Macintosh の場合)	29
『Picture Controller 300』の使いかた	32
■ Windows の場合	32
■ Macintosh の場合	34
■ [基本設定]タブ	35
■ [フィルタ]タブ	36
■ [ビデオ1]タブ	38
■ [ビデオ2]タブ	40
■ [オーディオ]タブ	41
■ [バージョン]タブ	42

ADVC-300 の接続	43
■ アナログ映像の入力	43
■ アナログ映像をパソコンに取り込む	44
■ アナログ映像を DV に録画する	45
■ DV 映像の入力	46
■ DV 映像をテレビで見る	47
■ DV 映像をアナログビデオに録画する	48
技術解説	49
■ アナログ信号入力の優先順について	49
■ オーディオモードについて	49
■ 著作権保護機能について	49
仕様	50
故障かな？と思ったら	51
製品のお問い合わせ窓口について	53

注意！



電源 ON/OFF 時、オーディオ機器のボリュームを絞ってください
ADVC-300 の電源を ON または OFF するときは、ADVC-300 に接続されている
オーディオ機器のボリュームを絞って（小さく）ください。オーディオ機
器に接続されたスピーカーなどを保護することができます。

ADVC-300 の特長

D1 端子出力

コンポーネント信号を出力します。

SECAM 方式対応

あらゆる映像方式に対応します。

入力 NTSC、PAL、SECAM に対応

出力 NTSC、PAL に対応

アスペクト比の設定

「4:3」か「16:9」かを選択します（D1 端子出力のみ）。

画質、音質調整ソフト

IEEE 1394 インターフェースに接続するだけで、プレビュー画面を見ながら簡単に Windows や Macintosh から画質、音質を調整できる『Picture Controller 300』が付属しています。

カラーバー信号出力機能

本製品は、アナログビデオ出力から簡易リファレンスカラーバーを出力します。

画像の調整に便利です。

※ カラーバーはDVには出力されません。

映像と音がずれない「Locked Audio」

本製品は、音声を映像の速度に合わせて正確にデジタル化するLocked Audioを採用しました。映像と音声データをシンクロさせることにより、アナログ入力音声が遅延することがありません。映画などの長時間のコンテンツをコンバートする場合も安心です。

ポイント



Locked Audio 機能はアナログから DV に変換する場合のみ有効です。DV-DV の接続時には機能しません。

ポイント



ラストメモリー機能とは…

ADVC-300 の電源を切る前の設定状態を内部 FLASH に記憶し、次回電源投入時にその内容を元に電源を切る前の状態と同じ動作モードにする機能をいい、入力モードなどに採用されています。

ポイント



ビデオフォーマット

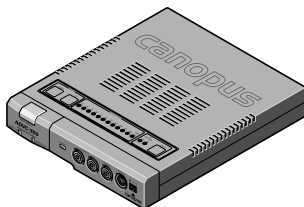
この製品は出荷時に NTSC に設定されています。（ビデオフォーマットは ADVC-300 底面にある [SW1] ディップスイッチで変更することができます。）

付属品の確認

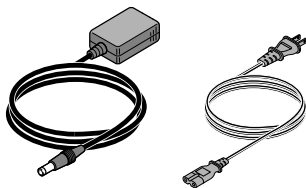
本製品には、以下の付属品が同梱されています。

■ ADVC-300 同梱物

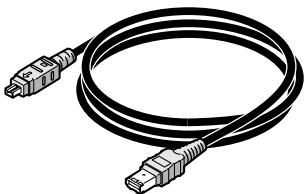
☐ ADVC-300



☐ AC アダプタ & ケーブル



☐ DV ケーブル (6pin-4pin)



☐ CD-ROM



☐ ADVC-300 ユーザーズマニュアル(本書)

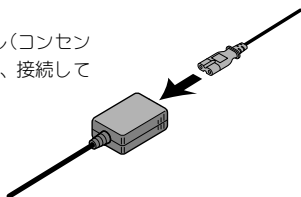
☐ ユーザー登録カード・ユーザー登録
控え兼製品保証書

※ ADVC-300 をお使いいただくためのアプリケーションなどが付属しています。これらは、封筒の中に収められています。この封筒を開封する前に、別途付属している Support Service Manual 中のソフトウェア使用許諾契約の項目をお読みください。

ポイント

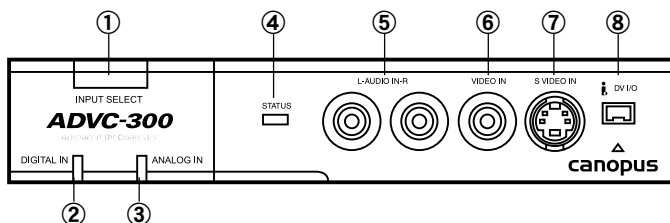


ACアダプタはユニット部とケーブル(コンセント側)が別体式となっていますので、接続してご使用ください。



各部の名称と機能

■ 前面



① [INPUT SELECT]スイッチ

DVとアナログの入力モードを切り替えるスイッチです。以下の2状態を繰り返して切り替えます。

・アナログ→DV→アナログ

※ [INPUT SELECT]スイッチを約3秒間押すとカラーバーが出力されます。もう一度スイッチを押すと、DV入力モードに戻ります。

② DIGITAL IN LED

DV端子から信号を入力して、アナログ信号に変換する場合に点灯します。

③ ANALOG IN LED

アナログ端子から信号を入力して、DV信号に変換する場合に点灯します。

④ STATUS LED

マクロビジョン信号検出時および異常時に点灯（赤色）します。

スタンバイ機能を有効にしている場合に、スタンバイ状態になると点灯（緑色）します。

⑤ AUDIO IN L/R

アナログオーディオ入力端子です。

⑥ VIDEO IN

コンポジットビデオ入力端子です。

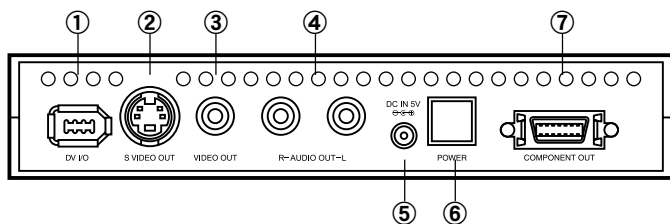
⑦ S-VIDEO IN

Sビデオ入力端子です。

⑧ DV IN/OUT

DV端子(4pin)です。DV機器または、PCに接続します。

■ 背面



① DV IN/OUT

DV 端子 (6pin) です。DV 機器または、PC に接続します。

② S-VIDEO OUT

S ビデオ出力端子です。

③ VIDEO OUT

コンポジットビデオ出力端子です。

④ AUDIO OUT L/R

アナログオーディオ出力端子です。

⑤ DC IN 5V

付属の AC アダプタを接続します。

⑥ [POWER]スイッチ

本体の電源を ON/OFF します。

⑦ COMPONENT OUT

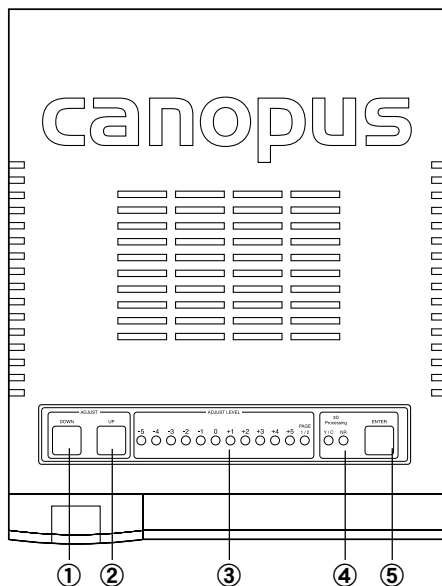
D1 出力端子です。

注意！



ADVC-300 の前面、背面の DV IN/OUT 端子に同時に DV カメラなどの機器を接続することは動作保証外となります。

■ 上面



① [ADJUST DOWN]スイッチ

設定する項目を選択する場合は、押すたびに ADJUST LEVEL LED の表示を左に移動します。画質、音質の微調整をする場合は、設定値をマイナス側に 1 段階移動します。

② [ADJUST UP]スイッチ

設定する項目を選択する場合は、押すたびに ADJUST LEVEL LED の表示を右に移動します。画質、音質の微調整をする場合は、設定値をプラス側に 1 段階移動します。

③ ADJUST LEVEL LED

画質、音質の ADJUST LEVEL 等を表示します。

④ 3D Processing LED

Y/C LED

入力がアナログコンポジットの場合に 3 次元 Y/C 分離を使用すると点灯します。

※Sビデオ入力の際は、最初から輝度 (Y) 信号と色 (C) 信号が分離されていますので、Y/C 分離は機能せず、LEDは点灯しません。

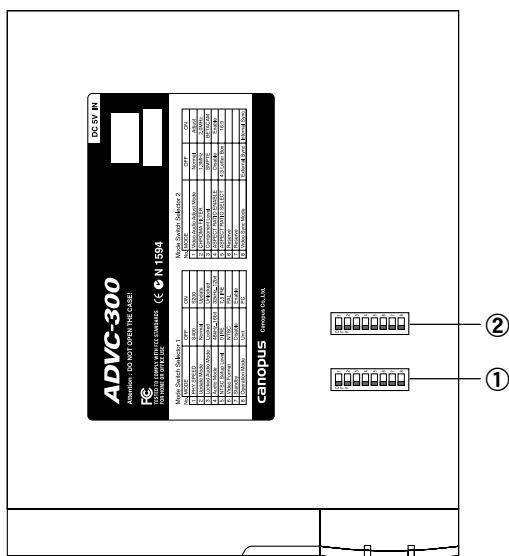
NR LED

3次元ノイズリダクションを使用すると点灯します。

⑤ [ENTER]スイッチ

各種の設定を行う際、確定する場合に使用します。

■底面



① [SW1]ディップスイッチ

VIDEO、AUDIO モード設定用のディップスイッチです。

② [SW2]ディップスイッチ

VIDEO 設定用のディップスイッチです。

ADVC-300 の設定

注意！



ディップスイッチの設定変更は、電源 OFF の状態で行ってください。

■ [SW1]ディップスイッチ

モードを設定します。出荷時はすべて OFF が選択されています。

OFF	No.	MODE	OFF	ON
☐ 1	1	PHY SPEED	S400	S200
☐ 2	2	Update Mode	Normal	Update
☐ 3	3	Locked Audio Mode	Locked	Unlocked
☐ 4	4	Audio Mode	48kHz_16bit	32kHz_12bit
☐ 5	5	NTSC Setup Level	0 IRE	7.5 IRE
☐ 6	6	Video Format	NTSC	PAL
☐ 7	7	Standby	Disable	Enable
☐ 8	8	Operation Mode	UNIT	PC

No. 1 PHY SPEED 設定

PHY SPEED を設定します (通常は S400 でお使いください)。

OFF:S400

ON:S200

No. 2 Update Mode 設定

Update Mode を設定します (通常は Normal でお使いください)。

OFF:Normal

ON:Update

No. 3 Locked Audio Mode 設定

Locked Audio モードの使用を選択します (p. 49 参照)。

OFF:Locked

ON:Unlocked

No. 4 Audio Mode 設定

オーディオ周波数を選択します。

OFF:48kHz_16bit

ON:32kHz_12bit

No. 5 NTSC Setup Level 設定

黒 (セットアップ) レベルを選択します。NTSC 方式の場合に有効になります。

OFF:0 IRE

ON:7.5 IRE (北米)

No. 6 Video Format 設定

ビデオ信号方式を選択します。

OFF:NTSC

ON:PAL

No. 5 NTSC Setup Level と No. 6 Video Format を両方 [ON] にすると、SECAM 方式になります。

※このとき入力 は SECAM 方式、出力 は PAL 方式になります。

No. 7 Standby 設定

スタンバイ機能 (DV 端子接続機器の信号を検知します) を設定します。

OFF:Disable

ON:Enable

注意!



スタンバイ機能を使う場合は、誤動作を避けるために、前面、背面のどちらかのDV端子のみに機器を接続して使用してください。

※接続する機器 (PC) のDV端子スタンバイの仕様や、OHCI カードの仕様によりスタンバイ機能が動作しない場合があります。

スタンバイ機能

DV 端子に接続した機器の電源 ON/OFF に連動して、ADVC-300 の電源を ON/OFF する機能です。

※ [POWER] スイッチによる電源の ON/OFF は、スタンバイ機能を使わない場合と同様に機能します。

No. 8 Operation Mode 設定

ADVC-300 の制御方法を選択します。

OFF:UNIT

ON:PC

ポイント



Operation Mode について

PC モードと UNIT モードを選択することができます。

使用モードを切り替える時は、ADVC-300 の電源を切った状態でディップスイッチの切り替えを行ってください。

UNIT モード:

ADVC-300 単体で使用し、操作も ADVC-300 上のボタンとインジケータで行うモードです。動作モード設定はディップスイッチで行います。

画質設定、音質設定も ADVC-300 単体で設定可能です。単純 DV コンバータとして使用する場合はモードです。

PC モード:

1394 インターフェース経由で接続された PC から ADVC-300 の機能を制御するモードです。画質設定、音質設定を PC から制御します。ADVC-300 のボタンスイッチは動作しません。

■ [SW2]ディップスイッチ

ビデオ、オーディオの設定を行います。

出荷時はすべて OFF が選択されています。

OFF		No.	MODE	No. 1	
				OFF	ON
	1	1	Video Audio Adjust Mode	Normal	Adjust
	2	2	CHROMA FILTER	1.3MHz	2.0MHz
	3	3	Component Level	SMPTE	BETACAM
	4	4	ASPECT RATIO ENABLE	Disable	Enable
	5	5	ASPECT RATIO SELECT	4:3LetterBox	16:9
	6	6	Reserved		
	7	7	Reserved		
	8	8	Video Sync Mode	External Sync	Internal Sync

No. 1 Video Audio Adjust Mode 設定

画質、音質調整を有効にします。通常は [OFF:Normal] でお使いください (P. 21 参照)。

OFF:Normal

ON:Adjust

No. 2 CHROMA FILTER 設定

クロマフィルターを選択します。

OFF:1.3MHz

ON:2.0MHz

No. 3 Component Level 設定

コンポーネントレベルを SMPTE か BETACAMか選択します。

OFF:SMPTE

ON:BETACAM

No. 4 ASPECT RATIO ENABLE 設定

アスペクト比 (No. 5 ASPECT RATIO SELECT) の設定を有効にします。[OFF:Disable] の場合は「4:3」のアスペクト比で出力します。

OFF:Disable

ON:Enable

No. 5 ASPECT RATIO SELECT 設定

アスペクト比を選択します。

OFF:4:3LetterBox

ON:16:9

No. 6 Reserved

使用しません (通常は[OFF]でお使いください)。

No. 7 Reserved

使用しません (通常は[OFF]でお使いください)。

No.8 Video Sync Mode 設定

PLL 制御を行うか設定します。DV 入力の場合のみ有効になります。

OFF:External Sync ON:Internal Sync

[OFF:External Sync] の場合は、アナログビデオ出力のフレーム、サブキャリア周期を入力される DV ストリームのパルスに同期させます。[ON:Internal Sync] の場合は、ADVC-300 の内部回路がアナログビデオ出力のフレーム周期を決定します。

ポイント



下記の機能は PC モードの場合に変更することができます。設定内容は ADVC-300 のメモリーに保存されます。

- Locked Audio Mode ([SW1]ディップスイッチの No. 3)
- Audio Mode ([SW1]ディップスイッチの No. 4)

下記の機能は PC から変更することはできません。

- NTSC Setup Level ([SW1]ディップスイッチの No. 5)
- Video Format ([SW1]ディップスイッチの No. 6)
- CHROMA FILTER ([SW2]ディップスイッチの No. 2)
- Component Level ([SW2]ディップスイッチの No. 3)
- ASPECT RATIO ENABLE ([SW2]ディップスイッチの No. 4)
- ASPECT RATIO SELECT ([SW2]ディップスイッチの No. 5)
- Video Sync Mode ([SW2]ディップスイッチの No. 8)

■画質、音質調整

ADVC-300には、画質および音質調整機能があります。外部入力(LINE)の1種類の設定を記憶させることができます。

ポイント



- ・ 外部入力の画質および音質調整機能は、S-VIDEOとCOMPOSITEは共通となります。
- ・ DV入力機器の調整は行えません。
- ・ 画質調整で変更した設定は、アナログデータからDVデータの変換時に、反映されます。

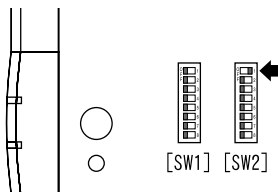


ADVC-300の[POWER]スイッチを[OFF]にします。



ディップスイッチ[SW2]のNo. 1を[ON]にします。

→ Video Audio Adjust ModeがAdjustになります。

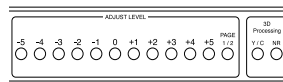
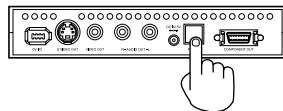


[POWER]スイッチを[ON]にします。

→ ADJUST LEVEL のLED が[-5]から[PAGE1/2]に向かって流れるように2回点灯した後、[-5]が点滅します。

→ 3D Processing のLED [Y/C]、[NR]は消灯します。

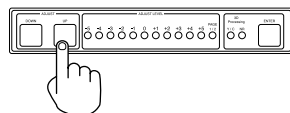
→ ADVC-300 が画質、音質調整モードになり、設定待ちの状態になります。



2回流れるように点灯した後[-5]が点滅

4

[ADJUST UP]または、[ADJUST DOWN]
スイッチを押して調整する項目を選
択します。



ポイント

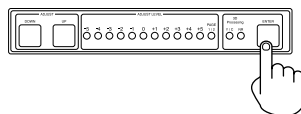


PAGEを切り替える場合は、[PAGE1/2]を選択し、[ENTER]スイッチを押します。
PAGE2に切り替えると、[PAGE1/2]LEDが点灯します。

LED	設定項目	備考
PAGE1 [-5]	画質、音質デフォルト設定	初期設定
PAGE1 [-4]	輝度調整	256段階
PAGE1 [-3]	コントラスト調整	256段階
PAGE1 [-2]	色合い調整	256段階
PAGE1 [-1]	色の濃さ調整	256段階
PAGE1 [0]	シャープネス調整	256段階
PAGE1 [+1]	ボリューム調整	256段階
PAGE1 [+2]	低音調整	31段階
PAGE1 [+3]	高音調整	31段階
PAGE1 [+4]	画質デフォルト設定	初期設定
PAGE1 [+5]	音質デフォルト設定	初期設定
PAGE2 [-5]	Y/C分離設定	4通り
PAGE2 [-4]	オーディオAGC設定	5段階



[ENTER]スイッチを押し、項目を確定します。



→ ADJUST LEVEL のLED が[-5]から
[PAGE1/2]に向かって流れるように2
回点灯した後、現在の設定(直前の設
定値)を表示します。



→ PAGE1[-5]: 画質、音質デフォルト設
定を選択した場合

ADJUST LEVEL と 3D Pro-
cessing の LED 全てが同
時に点滅します。

手順 7 へ進みます。

→ PAGE1[+4]: 画質デフォルト設定を選
択した場合

ADJUST LEVEL の LED 全て
が同時に点滅します。

手順 7 へ進みます。

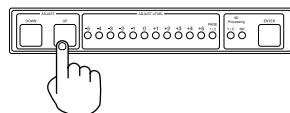
→ PAGE1[+5]: 音質デフォルト設定を選
択した場合

3D Processing の LED 2 個
が同時に点滅します。

手順 7 へ進みます。



[ADJUST UP]または、[ADJUST DOWN]
スイッチを押して調整します。



ポイント



[ADJUST UP]、[ADJUST DOWN]スイッチは押し続けるとリピート入力ができます。

設定項目	LED	-5	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	5
輝度調整	設定値	0～	24～	47～	70～	93～	116～	140～	163～	186～	209～	232～255
コントラスト調整						低	←初期値128→	高				
色合い調整						緑	←初期値128→	赤				
色の濃さ調						薄い	←初期値128→	濃い				
シャープネス調整						弱	←初期値128→	強				
ボリューム調整						小	←初期値237→	大				

設定項目	LED	-5	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	5
設定値		-15～	-12～	-9～	-6～	-3～	0	1～	4～	7～	10～	13～15
低音調整						弱	←初期値0→	強				
高音調整						弱	←初期値0→	強				

設定項目	LED	-5	-4	-3	-2	-1
Y/C分離設定	Y/C分離	OFF	2D	3D	3D	
	NR	OFF	3D	OFF	3D	
オーディオAGC設定	AGC Level	OFF	1	2	3	4

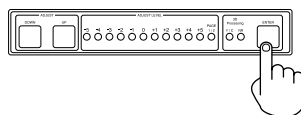
ポイント



ボリューム調整で設定値を大きくしている場合は、大きなレベルの入力ソースの際に音声が歪むことがあります。

7

[ENTER]スイッチを押し、設定を確認します。



→ 設定が更新されます。

→ ADJUST LEVEL のLED が[-5]から [PAGE1/2]に向かって流れるように2 回点灯した後、[-5]が点滅します。



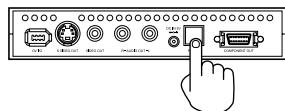
ポイント



他の項目も変更する場合は、手順4～7を繰り返します。

8

ADVC-300の[POWER]スイッチを[OFF]にします。

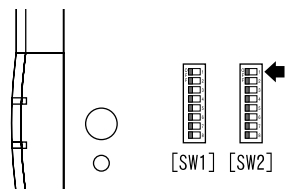


9

ディップスイッチ[SW2]のNo. 1を [OFF]にします。

→ Video Audio Adjust ModeがNormal になります。

→ 設定は終了です。



『Picture Controller 300』のインストール

■動作環境

以下の条件を満たしている場合でも、パソコン本体の問題によって正常に動作しない場合があります。以下の条件を満たしているすべてのパソコンでの動作を保証しているものではありません。

□パソコン本体

本製品をお使いいただくために最低限必要な環境です。

Windows

- ・CPU Pentium III 以上
- ・Memory 128MB 以上
- ・CD-ROM セットアップに必要
- ・HDD インストールに 4MB 以上の空き容量が必要
- ・『Picture Controller 300』を使用するにはOHCI (IEEE1394) カードが必要です。

Macintosh

- ・CPU G3 以上
- ・Memory 128MB 以上
- ・CD-ROM セットアップに必要
- ・HDD インストールに 4MB 以上の空き容量が必要
- ・『Picture Controller 300』を使用するにはFierWireポートが標準搭載であることが必要です。

□対応 OS

Windows

- ・Windows 2000 Professional + SP4
 - ・Windows XP Home/Professional + SP1
- ※DirectX 8以上のインストールが必要です。

Macintosh

- ・Mac OS X 10.2.7 以降

■インストール (Windows の場合)

Windows XP に『Picture Controller 300』をインストールする手順を説明します。

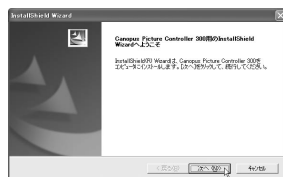
※『Picture Controller 300』のインストールに、ADVC-300の接続の有無は関係ありません。



『ADVC-300 Application CD』を CD-ROM ドライブにセットします。

→ CD-ROM が自動起動し、インストール画面を表示します。

※ CD-ROM が自動起動しない場合は、
『ADVC-300 Application CD』→
[PCtrl300]→[Setup.exe]を実行します。



ポイント



インストールが終了するまで『ADVC-300 Application CD』を CD-ROM ドライブから取り出さないでください。



[次へ]をクリックします。



使用許諾契約が表示されますので、内容をよくお読みの上、同意される場合のみ[はい]をクリックします。使用許諾契約に同意されない場合は、インストール作業を中断し、当社カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。

※ 使用許諾契約に同意されない場合、本ソフトウェアはご使用いただけません。



4

[次へ]をクリックします。

※ インストール先のフォルダを変更する場合は[参照]をクリックし、フォルダを指定します。

→ インストールを開始します。



5

オプションを選択し、[次へ]をクリックします。

→ リリースノートにはマニュアルに記載されていない事項が記載されていますので、必ずお読みください。



ポイント

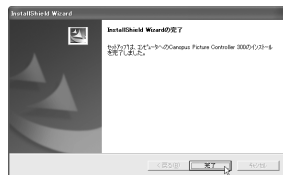


インターネットに接続できる環境であれば、ユーザー登録をオンラインで行うことができます。

6

[完了]をクリックします。

→ 『Picture Controller 300』のインストールは完了です。



ポイント



ADVC-300 には『ProCoder 体験版』が付属しています。『ProCoder 体験版』をインストールする場合は、『ADVC-300 Application CD』→『ProCoder体験版』→『Setup.exe』を実行します。

■インストール (Macintosh の場合)

Mac OS X に『Picture Controller 300』をインストールする手順を説明します。

※『Picture Controller 300』のインストールに、ADVC-300の接続の有無は関係ありません。



『ADVC-300 Application CD』を CD-ROM ドライブにセットします。

→ [ADVC300]のアイコンが表示されます。



ポイント



インストールが終了するまで『ADVC-300 Application CD』を CD-ROM ドライブから取り出さないでください。



[ADVC300]アイコン→[PCtrl300]→
[Picture Controller 300.pkg]を実
行します。



→ インストーラーが起動します。

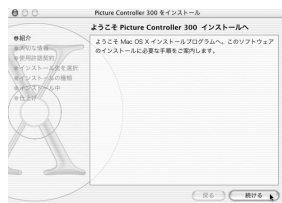


名前とパスワードを入力し、[OK]を
クリックします。



4

[続ける]をクリックします。



5

内容をよく読み、[続ける]をクリックします。

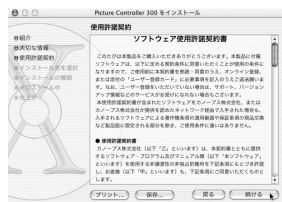
→ リリースノートにはマニュアルに記載されていない事項が記載されますので必ずお読みください。



6

[続ける]をクリックします。

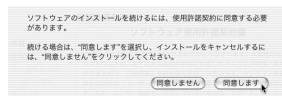
→ 使用許諾契約が表示されます。



内容をよくお読みの上、同意される場合のみ[同意します]をクリックします。

→ 使用許諾契約に同意されない場合は、インストール作業を中断し、当社カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。

※ 使用許諾契約に同意されない場合、本ソフトウェアはご使用いただけません。



7

インストール先を選択し、[続ける]をクリックします。



8

[インストール]をクリックします。
→ インストールを開始します。



9

インストールが完了したら、[閉じ]をクリックします。



→ [アプリケーション] フォルダ内に
[Picture Controller 300]フォルダが
作成されます。



Picture Controller 300



インターネットに接続できる環境であれば、ユーザー登録をオンラインで行うことができます。

『Picture Controller 300』の使いかた

ADVC-300 に付属の『Picture Controller 300』を起動します。

注意！



DV ケーブルで接続した PC が、電源 OFF、またはスタンバイ状態の時に、ADVC-300 の電源を ON、OFF しないでください。

ポイント



『Picture Controller 300』により、PC から DV 端子経由で画質、音質の調整ができます。設定は ADVC-300 の電源を OFF にした場合や、『ADVC-300』をパソコンから取り外した場合も有効です。

■ Windows の場合

注意！



ADVC-300 の電源が OFF の状態で、あらかじめ [SW1] ディップスイッチ No. 8 を [ON:PC] (PC モード) にしておきます (P. 18 参照)。



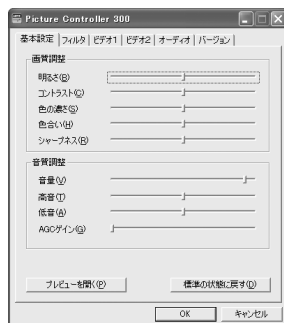
ADVC-300 を接続してから PC を起動し、[POWER] スイッチを [ON] にします。



[スタート]→[すべてのプログラム]→[Canopus Picture Controller 300]をクリックします。



→『Picture Controller 300』が起動します。



ポイント



- 『Picture Controller 300』の設定画面について (P. 35 ~ 42 参照)
[プレビューを開く] ([プレビューを閉じる]) ボタン
: プレビュー画面を開きます (プレビュー画面を閉じます)。
[標準の状態に戻す] ボタン
: 初期設定値に戻します。
[OK] ボタン
: 設定を保存し、『Picture Controller 300』を終了します。
[キャンセル] ボタン
: 設定を保存せずに、『Picture Controller 300』を終了します。

■ Macintosh の場合

注意！



ADVC-300の電源がOFFの状態では、あらかじめ[SW1]ディップスイッチNo. 8を[ON:PC] (PCモード) にしておきます (P. 18 参照)。

1

ADVC-300 を接続してから PC を起動し、[POWER] スイッチを[ON]にします。

2

[Picture Controller 300] フォルダから [Picture Controller 300] をクリックします。

Picture Controller 300



→ 『Picture Controller 300』 が起動します。



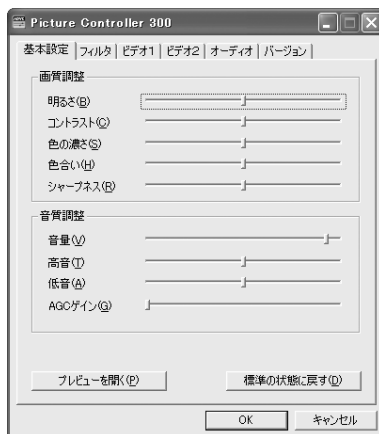
ポイント



- ・『Picture Controller 300』の設定画面について (P. 35 ~ 42 参照)
 - [プレビュー] ボタン
：プレビュー画面を開きます。
 - [デフォルト] ボタン
：初期設定値に戻します。
 - [元に戻す] ボタン
：直前に保存した設定に戻します。
- ・『Picture Controller 300』の設定内容は、Windows、Macintosh とも同じです。
※各タブの画面はWindowsの場合を記載しています。

■[基本設定]タブ

画質、音質の調整をします。



・画質調整

映像の明るさ、コントラスト、色の濃さ、色合い、シャープネスを調整します。

・音質調整

テレビ映像の音量、高音、低音、AGCゲインを調整します。

ポイント



音質調整：AGCゲイン

音量を自動で調整します。また自動調整の度合いを設定できます。

■[フィルタ]タブ

Y/C 分離、DNR の設定をします。



注意！



- ・Sビデオ入力時には、[フィルタ]タブのY/C分離は設定できません。
- ・ノイズ除去では、ノイズの状態によっては除去しきれないことがあります。

・ビデオプロセッシング

「Y/C 分離 2次元」

コンポジット信号映像を表示するとき、輝度 (Y) 信号と色 (C) 信号の分離を上下の走査線を利用して処理します。

「Y/C 分離 3次元」

コンポジット信号映像を表示するとき、動き検出回路で前フレームと現在のフレームを比較し、静止画と判定された部分でY/Cを分離します。2次元よりも効果的に分離します。

・3次元ノイズ除去

前フレームと現在のフレームを比較し、輝度 (Y) 信号と色 (C) 信号ごとにノイズを除去します。

「輝度成分効果」

輝度 (Y) 信号のノイズ除去レベルを設定します。

「色成分効果」

色 (C) 信号のノイズ除去レベルを設定します。

・ 2次元ノイズ除去

内蔵フィルタで映像全体を均等にぼかすことによって、ノイズを除去します。

「輝度成分効果」

輝度 (Y) 信号のノイズ除去レベルを設定します。

「色成分効果」

色 (C) 信号のノイズ除去レベルを設定します。

・ 3次元 Y/C 分離時の動き検出

「動き検出感度」

「Y/C 分離 3次元」を選択した場合に動体検出回路の感度を調整します。

ポイント



デジタル3次元YC分離

コンポジット信号は、ひとつの信号に輝度の信号 (Y) と色の信号 (C) が混合された状態になっています。コンポジット信号をDV圧縮するには、輝度 (Y) 信号と色 (C) 信号を分離する必要があります。この分離方法には2つの方式があります。

・ 2次元 YC 分離

ドットの上下の関連性を利用してYCを分離する方法です。ドットの上下の関連性が低い場合 (黒バックに白の斜め線等) に色ノイズが発生しますが、解像度を高くできるため、最近では多く採用されている方式です。

・ 3次元 YC 分離

同じ位置に表示されているドットの時間関係からYCを分離する方法で、現在考えられる手法ではもっとも高画質の処理です。時間軸の相関関係の強い静止部分は時間軸で、時間軸の相関関係の低い動画部分は上下の関係 (2次元) を利用して処理を行います。デジタルのフレームバッファと動きの検出機構が必要になります。

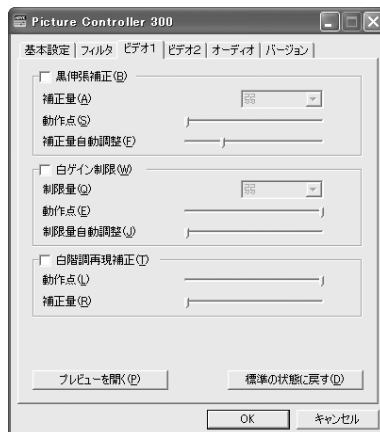
デジタル3次元ノイズ除去

従来は1次元または2次元の方向で、画像全体の周波数特性を落とす (ぼやっとさせる) 方向でノイズの除去を行っていたため、ノイズのない部分にも影響が出てしまうという問題がありました。ADV-C-300で採用したデジタル3次元ノイズ除去では、ノイズの特性 (時間軸の関連性が低い) からノイズを検出してノイズ除去を行うため、画像への影響は最小限に抑えられています。

※構造上すべてのノイズには対応していません。

■[ビデオ 1]タブ

色の階調を補正します。黒い部分や白い部分がつぶれている場合に設定すると、メリハリのある映像に調整できます。



・黒伸張補正

黒い（低輝度）部分のゲインを補正し、黒い部分をより黒く強調することによって黒浮きを改善します。

「補正量」

黒伸張補正量を設定します。補正量が高いほど黒が強調されます。



ポイント

「弱」では効果があつきりしないことがあるため、[中]、または[強]で設定することをお勧めします。

「動作点」

どのレベルの輝度（明るさ）まで黒く強調するかを設定します。カーソルを右に移動するほど明るいレベルに設定されます。



注意！

「補正量」を[弱]、または[中]に設定している場合、カーソルを右へ移動させすぎると補正量が不足し、映像が白っぽくなる場合があります。

「補正量自動調整」

黒伸張の補正量を、現在入力している映像の平均輝度（明るさ）に基づいて調整します。

・ 白ゲイン制限

白い(高輝度)部分のゲインを補正し、白い部分のコントラストを復元することによって白トビを改善します。

「制限量」

白ゲイン制限補正量を設定します。制限量が強いほど白ゲインが低く補正されます。

「動作点」

どのレベルの輝度(明るさ)まで白ゲインを低く補正するかを設定します。カーソルを左に移動するほど暗いレベルに設定されます。

「補正量自動調整」

白ゲインの補正量を、現在入力している映像の平均輝度(明るさ)に基づいて調整します。

・ 白階調再現補正

入力映像の平均輝度(明るさ)レベルが高いときに、輝度信号のレベルを下げ、明るい部分の階調再現性を向上させます。

ポイント



全体的に白くつぶれている映像に有効な機能です。

「動作点」

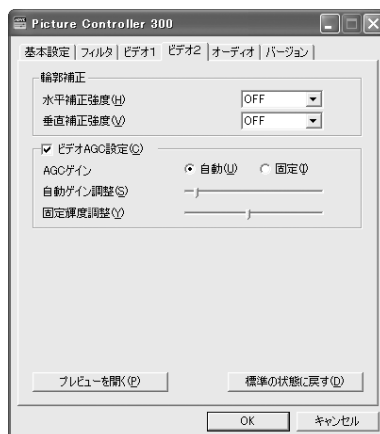
どのレベルの輝度(明るさ)まで輝度信号を低く補正するかを設定します。カーソルを左に移動するほど暗いレベルに設定されます。

「補正量」

白階調補正量を、現在入力している映像の平均輝度(明るさ)に基づいて調整します。

■[ビデオ 2]タブ

輪郭補正、AGCの設定をします。



・ 輪郭補正

映像中の人や物の輪郭を補正します。

「水平補正強度」

映像の水平方向の輪郭を補正します。縦線のエッジが強調されます。

「垂直補正強度」

映像の垂直方向の輪郭を調整します。横線のエッジが強調されます。

・ ビデオ AGC 設定

映像のAGC機能の詳細設定を行います。自動的に映像全体を最適な輝度（明るさ）に設定したい場合は、この項目にチェックをします。

「AGC ゲイン」

[自動]をチェックすると、自動的に映像全体の輝度（明るさ）を調整します。[固定]をチェックすると、固定した輝度で映像全体を調整します。

「自動ゲイン調整」

「AGC ゲイン」を[自動]に設定した場合、その自動調整度合いを設定します。カーソルを右側に動かすほど強く AGC が効き、明るさを抑えた映像になります。

「固定輝度調整」

「AGC ゲイン」を[固定]に設定した場合、その固定輝度を設定します。カーソルを右側に動かすほどゲインが大きくなり（明るく）なります。

ポイント



AGCとはAuto Gain Controlの略で、自動的に映像の階調などを調整する機能です。表示する映像が毎回異なっても、常に最適なレベルで表示できます。

■[オーディオ]タブ

Locked audio mode、サンプリングレートの設定をします。



・ キャプチャー時のオーディオ設定

「Locked audio mode」

Locked audio mode の有無を選択します。

注意！



アナログ入力の場合のみ有効です。

「サンプリングレート」

オーディオ周波数を選択します。

[48kHz 16bit]

オーディオデータを48kHz16ビットのステレオ音声で処理します。DVD-Videoを作成する場合はここを選択します。

[32kHz 12bit]

32kHz12ビット4Chの音声信号で処理します。ADVC-300はメインの2チャンネルのみ処理し、サブの2Chは無音となります。

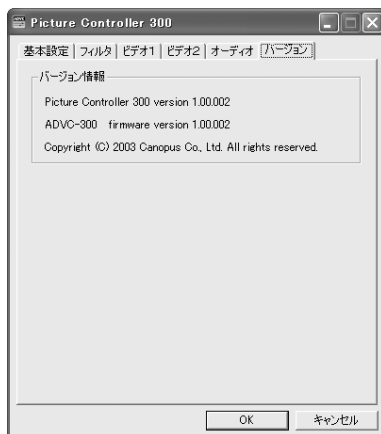
ポイント



ユニットモードの場合は設定を変更できません。

■[バージョン]タブ

『Picture Controller 300』のバージョン情報を表示します。



ADVC-300 の接続

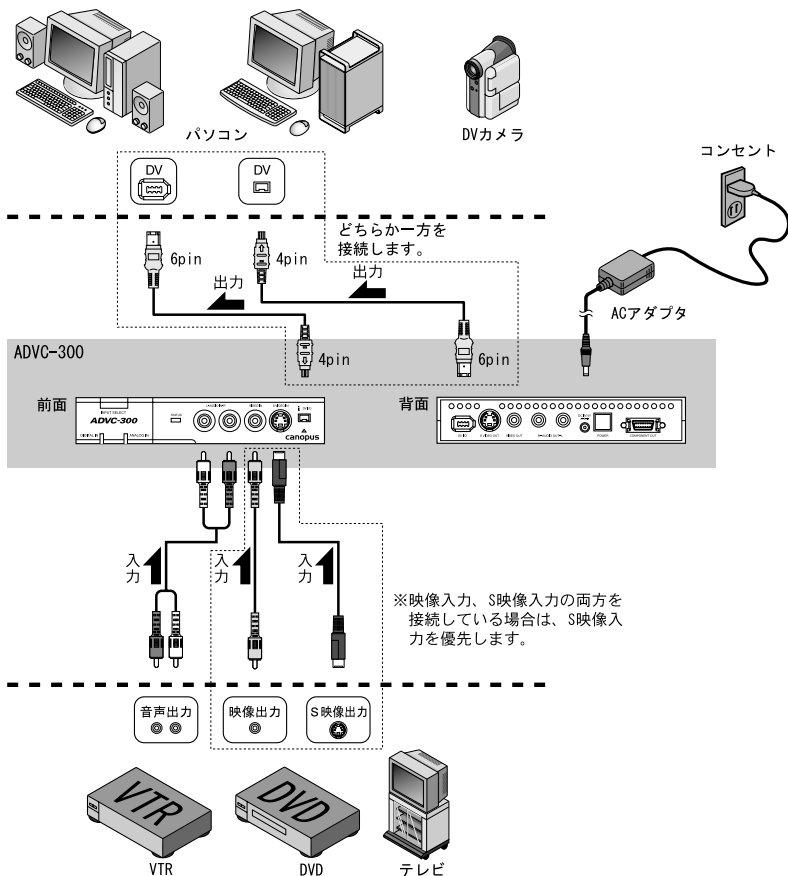
■ アナログ映像の入力

図のように各機器を接続します。

注意！



DVケーブルを抜き差しする時は、必ずPCとADVC-300の電源をOFFにしてから行ってください。



■ アナログ映像をパソコンに取り込む

注意！

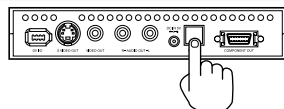


DV ケーブルで接続した PC が、電源 OFF、またはスタンバイ状態の時に、ADVC-300の電源を ON、OFF しないでください。OHC1 カードによっては、PC が起動しなくなる場合があります。

この場合は、ADVC-300 を一旦外し、PC の電源ユニットの電源を OFF/ON にして、PC を起動させてから再び ADVC-300 を接続します。

1

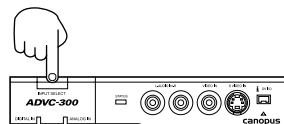
背面の [POWER] スイッチを押します。



2

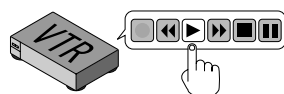
前面の [INPUT SELECT] スイッチを押し、入力モードを ANALOG IN 外部入力モードに切り替えます。

→ ANALOG IN LED が点灯します。



3

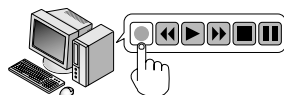
アナログビデオで取り込みたい映像を再生します。



4

パソコンで映像をキャプチャします。

※ パソコンで映像をキャプチャする方法については、パソコンでお使いになるソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。



ポイント



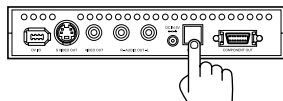
キャプチャ時のオーディオ・サンプリング周波数について

- ・ LINE 入力選択時：48kHz (16bit)、32kHz (12bit) から選択することができます。選択方法は、ディップスイッチもしくは『Picture Controller 300』で設定します。

■ アナログ映像を DV に録画する

1

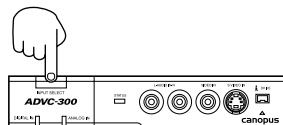
背面の[POWER]スイッチを押します。



2

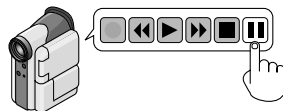
前面の[INPUT SELECT]スイッチを押し、入力モードをANALOG IN 外部入力モードに切り替えます。

→ ANALOG IN LED が点灯します。



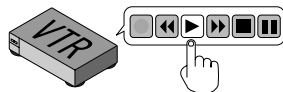
3

DV を録画一時停止の状態にしておきます。



4

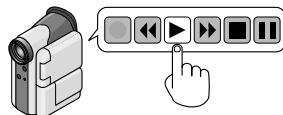
アナログビデオでダビングしたい映像を再生します。



5

DV の録画一時停止を解除します。

→ アナログ映像が DV にダビングされます。



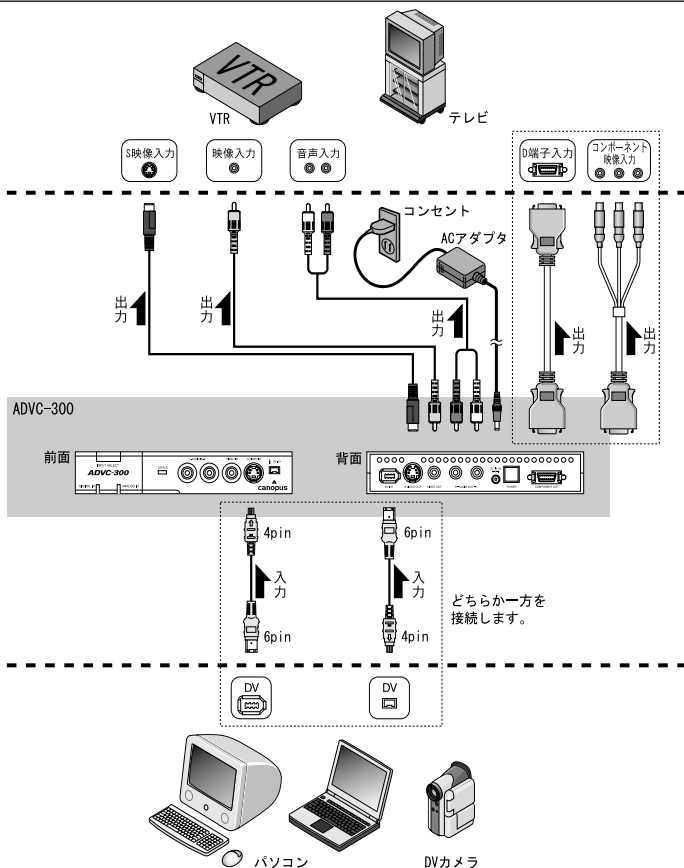
■ DV 映像の入力

図のように各機器を接続します。

注意！



DVケーブルを抜き差しする時は、必ずPCとADVC-300の電源をOFFにしてから行ってください。



注意！

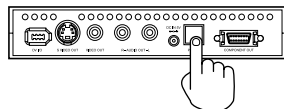


DVケーブルで接続したPCが、電源OFF、またはスタンバイ状態の時に、ADVC-300の電源をON、OFFしないでください。OHC1カードによってはPCが起動しなくなる場合があります。

■ DV 映像をテレビで見る

1

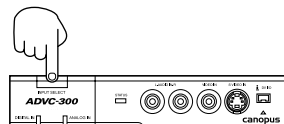
背面の[POWER]スイッチを押します。



2

前面の[INPUT SELECT]スイッチを押し、入力モードをDIGITAL INに切り替えます。

→ DIGITAL IN LED が点灯します。

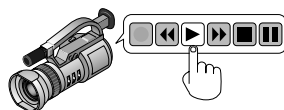
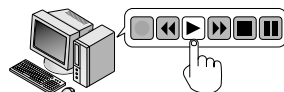


3

パソコン（またはDVカメラ）からDV映像を出力します。

→ DV映像がテレビに表示されます。

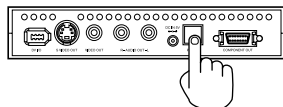
※ パソコンからDV映像を出力する方法については、パソコンでお使いになるソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。



■ DV 映像をアナログビデオに録画する

1

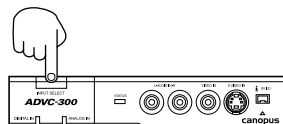
背面の[POWER]スイッチを押します。



2

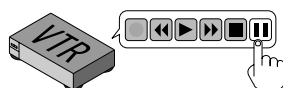
前面の[INPUT SELECT]スイッチを押し、入力モードをDIGITAL INに切り替えます。

→ DIGITAL IN LED が点灯します。



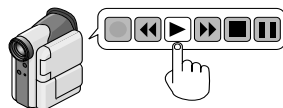
3

アナログビデオを録画一時停止の状態にしておきます。



4

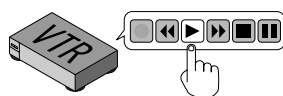
DV でダビングしたい映像を再生します。



5

アナログビデオの録画一時停止を解除します。

→ DV 映像をアナログビデオに録画します。



技術解説

■ アナログ信号入力の優先順について

すべてのコネクタに同時にケーブルを接続した場合は、

・ ビデオ

- 1 S-ビデオ入力
- 2 コンポジット入力

の順番で優先的に使用されます。

■ オーディオモードについて

48kHz16 ビットモード

オーディオデータを 16 ビットモードのステレオ音声を 48kHz で記録します。
DAT と同等の音質で記録することができます。

32kHz12 ビットモード

32kHz12 ビット 4ch の音声信号を持った記録モードです。
ADVC-300 の録音時では、メイン 2ch のみ記録し、サブの 2ch は無音となります。

Unlocked モードについて

民生機器の Unlocked Audio はビデオ 1 フレームに対するオーディオサンプル数がある程度揺れることが許されており、この揺れの誤差が長時間蓄積されると音ずれの原因となります。それに対して、Locked Audio はビデオ 1 フレームに対するオーディオサンプル数がある規則の固定パターンに決められており、オーディオデータをビデオに同期させるため音ずれが発生しません。

しかし、ゲーム機のように大幅に標準信号からずれた映像を入力したときに Locked モードを使用すると、Locked Audio の規則正しいオーディオサンプル数に合わせる限界を超えてしまうので音にノイズが入る事があります。

そのため、当社では Unlocked モードを用意しました。

■ 著作権保護機能について

本製品には、コピープロテクト等の著作権保護技術に対応しています。コピーガード信号の付加されたデータが入力されると、輝度、コントラストの極端に下がったデータが出力され、STATUS の LED が点灯します。

仕様

ビデオ信号形式			NTSC(0IRE)、NTSC(7.5IRE)、SECAM*、PAL
DV	前面端子		4-pin iLINK コネクタ
	背面端子		6-pin iLINK コネクタ
アナログビデオ	前面端子	入力	S-Video(ミニ DIN 4 ピン)x1 RCA ピンジャック(コンポジット)x1
	背面端子	出力	S-Video(ミニ DIN 4 ピン)x1 RCA ピンジャック(コンポジット)x1
アナログオーディオ	データ		48kHz 16bit 2ch 32kHz 12bit 4ch (データフォーマットは4chですが、データが入っているのはメインの2chのみです。サブの2chは無音が入ります。)
	前面端子	入力	RCA ピンジャック x2(ステレオ1系統)
	背面端子	出力	RCA ピンジャック x2(ステレオ1系統)
コンポーネントビデオ	背面端子	出力	D コネクタ (D1) × 1
電源			AC アダプタ
消費電力			最大 9W
			スタンバイ時 0.5w
仕様周囲温度			0℃～45℃
外形サイズ(突起物を含まず)			146(W)x27.2(H)x175(D)
重量			430g

* SECAM 形式時、取り込みは SECAM ですが、アナログビデオ出力は PAL になります。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったらときは、修理をご依頼になる前に、以下の点をご確認ください。

症状	原因 / 対策
POWER スイッチを押しても電源が入らない	→ ACアダプタが背面のDC IN 5V コネクタおよびコンセントに差し込まれているかを確認します。
映像・音声が出力されない	→ POWER スイッチが入っているかを確認します。本製品と DV、アナログビデオを接続するケーブルが正しく接続されているか確認します。
録画できない	→ 入力された映像・音声データに著作権保護の信号が含まれている場合、正常に録画することはできません。
カラーバーが表示されない	→ INPUT SELECT スイッチは、続けて 3 秒以上押してください。
ADV-G-300 のボタンスイッチが動作しない。	→ モード切替 [SW1] ディップスイッチ No. 8 が ON になっています。この状態では PC からしか制御できません。

以上をご確認いただいても正常に動作しない場合は、以下の当社サポート窓口までお問い合わせください(保証規定については保証書をご覧ください)。

操作方法などの使い方のお問い合わせは

テクニカルサポート TEL. 078-992-6830

※ 当社が販売を行っていない製品にバンドルされている編集ソフトウェアなどのお問い合わせはお受けできません。

修理や保守部品のお問い合わせは

カスタマーサポート TEL. 078-992-5846

※ 塗装のはがれ、傷、コネクタ類の破損は無償保障の範囲外となります。

※ 初期不良を除き、コネクタ等が破損した場合の交換には実費および手数料を請求させていただきます。

修理をご依頼される際は、以下の情報をご連絡ください。

- 製品名 ●シリアル番号
- ご氏名 ●ユーザー ID
- ご住所 ●電話・FAX 番号
- 不具合の具体的な内容

シリアルナンバーシールについて

ADVC-300 に同梱されているシリアルナンバーシールは、ADVC-300 底面にある型番シールの空白部にお貼りください。シリアルナンバーシールはお問い合わせ、修理の際に必要となります。

ユーザー登録カード・ユーザー登録控え兼製品保証書について

本製品に関するさまざまなサービスをお受けいただくために、ぜひユーザー登録を行ってください。

ユーザー登録カードの各項目に必要事項を記入し、ユーザー控えの部分を切り離して切手を貼らずにポストへ投函してください。切り離したユーザー控えは、ご購入いただきました製品の所有者であることを証明するものになりますので、本書と併せて大切に保管してください。

また、本製品は当社ホームページにおいてオンラインユーザー登録も承っております。詳しくはオンラインユーザー登録ページ(<http://www.canopus.co.jp/tech/regist.htm>)をご覧ください。

本製品の保証書は、ユーザー登録カード・ユーザー登録控えとの兼用となっています。ユーザー登録控え兼製品保証書は、製品の動作確認や修理をお受けいただく際に必要となります。紛失された場合でも再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

製品の最新情報は、当社ホームページでご確認ください。

Canopus ホームページ <http://www.canopus.co.jp>

製品のお問い合わせ窓口について

本製品のお問い合わせは、下記の窓口にて受け付けております。電話番号は、お間違えのないようにおかけください。

カスタマーサポート窓口 TEL. 078-992-5846

〒651-2241 神戸市西区室谷1-2-2 カノープス株式会社カスタマーサポート宛

10:00～12:00/13:00～17:00(土日祝日、当社指定休日は除く)

※ 修理や保守部品に関するご質問承り窓口です。

テクニカルサポート窓口 TEL. 078-992-6830

10:00～12:00/13:00～17:00(土日祝日、当社指定休日は除く)

※ 製品の使用方法に関するご質問承り窓口です。

